



継承語としての日本語教育

—カナダの経験を踏まえて—

**JAPANESE**  
**AS A HERITAGE LANGUAGE:**  
**THE CANADIAN EXPERIENCE**

Edited by

**KAZUKO NAKAJIMA • MICHIKO SUZUKI**

カナダ日本語教育振興会

**THE CANADIAN ASSOCIATION FOR JAPANESE LANGUAGE EDUCATION**

---

© 1997 Copyright by The Canadian Association for Japanese Language Education.  
All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping or any other information storage and retrieval systems, without the prior written permission of the publisher.

The Canadian Association for Japanese Language Education is grateful to the Department of Canadian Heritage, Government of Canada, for its financial support.

ISBN 0-921831-44-7

Printed in Canada

éditions Soleil publishing inc.  
P.O. Box 847, 32 Cross Street  
Welland, Ontario L3B 5Y5  
Tel. 905-788-2674, Fax: 1-800-261-0833

## 「継承語としての日本語教育—カナダの経験を踏まえて」 出版に際して

カナダ日本語教育振興会発足9年目に「継承語としての日本語教育—カナダの経験を踏まえて」がいよいよ出版の運びとなった。まことに喜ばしい限りである。

そもそのきっかけは、「カナダにおける小・中学生の日本語教育」と題するパネルディスカッションであった。鈴木美知子先生のレポートにあるように、1994年度夏期現職日本語教師研修会で行われたもので、全国的な規模で継承語教育関係者が一堂に会するのは後にも先にもこれが初めてである。この試みを支援してくれた連邦政府 (Department of Heritage) に報告書を提出したところ、驚いたことに今度は連邦政府の方から、パネルレポートを中心に継承語教師に役立つ本にしないかと持ちかけられたのである。願ってもない話、チャンスは逃すべからずというのですぐに論文・エッセイ・現状報告の募集を始めた。と同時に、予算削減下刻々と事情の変わる日本語学校や継承語プログラムの現況を把握するため、各地域一校に絞って改めて最新状況をレポートしていただいた。

本書に含まれたエッセイはいずれも貴重なものである。木田美智子先生の「私の実践報告—子供と学ぶ「ある」と「いる」」は継承語教師として長年研鑽を積まれるなかで生まれたもの、ウィルソン先生の「僕、大きくなったら日本語なんかしゃべらない」は母親の立場から書かれたもので共感を覚える教師も多いだろう。元シニア日本語教育専門家村沢晃先生の「子供の目の高さでの日本語教育を」は、ニューズレター第6号に執筆をお願いしたものであるが、先生の許可を得てここに転載させていただいた。子どもを扱う教師の基本的姿勢を示してくれるものである。カナダ生まれの継承語教育教科書「にっぽんご／日本語」は、作成委員長の横山勉夫先生にその概要とこれまでの経緯をお書きいただいた。ブリティッシュ・コロンビア州の先生方の夢が叶って、ついに最終目標である第7巻が出版の運びとなったとのこと、カナダ日本語教育史上、画期的な業績と言えよう。

野呂博子先生、リープ勝江先生、桶谷仁美先生のカナダならではの貴重な研究論文に加え、「年少者のための会話カテスト」も日本語教育第83号 (1994) より転載した。これは1991年から3年間オンタリオ州政府の援助で振興会が手掛けてきた特別プロジェクトである。「会話カテストのためのWarming-up Activities」は、このプロジェクトの一部として「会話カテスト用ロールプレイカード50」に含めたものであるが、教室活動にも十分役に立つので、著者の中村行子先生にイラストをつけていただいて独立させた。この他振興会では「子どものためのプロジェクト・ワーク「日本を知ろう」」、ヘリテッジ部会開発による「マルチレベル教室のための教材いろいろ」などがあるが、ページ数の制約上割愛せざるを得なかった。「年少者のための会話カテスト」の開発も1996年度の国際交流基金 (フェローシップ・プログラム) の支援で現在新たな進展を示しているところであり、この成果も含めて次の発表の機会を待つことにしたい。最後に、「継承語としての日本語教育」レスンプランの実例を3つ公開していただいた。これはトロント教育委員会の依頼で、継承語学校「国語教室」の先生方がオンタリオ州の「継承語教育ガイドライン」に則って作成したものである。

「継承語としての日本語教育」は未踏の分野である。本書は世界で初めての、研究と実践のバランスのとれた現状報告ではないかとひそかに自負している。多忙のなかを執筆依頼に応じてくださった諸先生方、入力やガイド作成を手伝ってくださった方々に対し、振興会役員一同と共に心から感謝したい。

カナダ日本語教育振興会会長 中島和子

1996年12月15日

## TABLE of CONTENTS

	page
I Japanese as a Heritage Language: an Introduction	<i>Kazuko Nakajima</i> 3
II The Current Status of Japanese Language Schools in Canada	21
Reports on the Panel Discussion:	<i>Michiko Suzuki</i> 23
"Japanese Language Instruction for Young Learners in Canada"	
A List of Japanese language schools and programmes in Canada	27
Vancouver Japanese Language School	<i>Richard Y. Yagi</i> 31
Calgary Japanese Language School	<i>Yuriko Tanaka</i> 35
Waterloo Japanese Language School	<i>Kazuhiko Takahashi</i> 37
Ottawa Japanese Language School	<i>Akiko Takemura</i> 39
Montreal Japanese Language Centre	<i>Masako Khan</i> 41
III Reflections from Canadian Experience	43
Japanese Language Instruction at "the Height of a Child's Eyes"	<i>Akira Murasawa</i> 45
A Report from my Teaching Practice:	<i>Michiko Kida</i> 49
Learning the distinction between "Aru" and "Iru" with my Students	
"I won't speak Japanese when I grow up!"	<i>Natsuko Wilson</i> 53
The Development of a Japanese Language Textbook in Canada	<i>Takeo Yokoyama</i> 55
Available Teaching Materials for Heritage Language Instruction	<i>Kazuhiko Takahashi</i> 61
IV Research Papers	65
Japanese as a Heritage Language in Canada	<i>Hiroko Noro</i> 67
The Development of an Oral Proficiency Test for Young Learners	
<i>Kazuko Nakajima, Hitomi Oketani &amp; Michiko Suzuki</i>	77
Warming-up Activities for an Oral Proficiency Test	<i>Yukiko Nakamura</i> 97
The Challenge of Raising a Child Bilingually	<i>Katsue Reeve</i> 103
Canada's Human Resources, "Additive Bilinguals": A Case of Post-War Japanese-Canadian Youths	<i>Hitomi Oketani</i> 109
V Teachers' Guide	119
VI The Generic Curriculum for Heritage Language Program in Ontario:	135
3 Sample Lesson Plans	
<i>Michiko Suzuki, Hitomi Oketani, Yoko Sugimoto, &amp; Yukie Lockwood</i>	137
My Classroom (Pre-school)	139
People and Places in my School (Grade 1)	147
In the Playground (Grade 2)	153

# 目次

	ページ
I 継承語としての日本語教育序論	中島和子 3
II カナダ日本語学校現状報告	21
「カナダにおける小中学生の日本語教育」パネルリポート	鈴木美知子 23
日本語学校・プログラム一覧	27
バンクーバー日本語学校	八木慶男 31
カルガリー日本語学校	田中百合子 35
ウォータールー日本語学校	高橋和比古 37
オタワ日本語学校	竹村昭子 39
モントリオール日本語センター	カーン昌子 41
III カナダの経験を踏まえて	43
「子供の目の高さ」での日本語教育	村沢晃 45
私の実践報告ー子供と学ぶ「ある」と「いる」	木田美智子 49
「僕、大きくなったら日本語なんかしゃべらない」	ウィルソン夏子 53
カナダにおける日本語教科書作成の沿革	横山赴夫 55
継承語教育に役立つ市販教材について（私見）	高橋和比古 61
IV 研究論文	65
カナダにおける継承語としての日本語教育	野呂博子 67
年少者のための会話カテストの開発	中島和子・桶谷仁美・鈴木美知子 77
会話テスト用のWarming-up Activities	中村行子 97
The Challenge of Raising a Child Bilingually	リープ勝江 103
Canada's Human Resources, "Additive Bilinguals": A Case of Post-War Japanese-Canadian Youths	桶谷仁美 109
V 教師用ガイド	119
VI 継承語教育レスンプラン：実例3つ	135
The Generic Curriculum for Heritage Language Programs に準拠して	
鈴木美知子・桶谷仁美・杉本陽子・ロックウッドゆきえ	137
「楽しい教室づくり」（幼）	139
「わたしたちの学校」（1年）	147
「あそび場で」（2年）	153